

福音宣教の道とともに歩む聖マリア

— 祈りのつどい —



福音宣教の母である聖マリア

「福音宣教のための特別月間」

(2019年10月)

- はじめに

カトリック教会は典礼暦の中で、10月7日を「ロザリオの聖母」の記念日としています。そして、10月は、「ロザリオの月」としても定められています。

伝統的に大切にされてきた「ロザリオの祈り」は、教会の母である聖母マリアを深く信頼し、取次ぎを願い、様々な困難や課題に対しても祈ってきました。

また、カトリック教会は、毎年10月の最後から2番目の主日を、「世界宣教の日」と定めています。教皇フランシスコは、今年の10月を、「福音宣教のための特別月間」とすることを宣言されました。この特別月間は、今から100年前、悲劇的な大戦後の1919年に当時の教皇ベネディクト十五世が「諸国民への宣教」を強調した使徒的書簡『マキシムム・イルド』と関連しています。そこでは、「聖なる生活と善行を通して、主イエスをより広く告知し、イエスの愛を広めることこそが宣教活動の目的」であることが説かれています。そこで、教皇フランシスコは、全世界の教会が「喜びを特徴とする福音宣教の新しい旅の段階」に向かっていくよう呼びかけています。

今日の祈りの集いを通して、世界の地域の宣教活動を黙想しながら、教会の母であり、福音宣教の星であり、道であるマリア様の姿を模範として、各共同体のわたしたち一人ひとりも福音宣教の奉仕に目覚め、その働きがますます助けられるよう、マリア様の取り次ぎを願って祈りましょう。

- しおり（パンフレット）の案内

はじめに、入堂の歌の後、司式者の挨拶と祈願に続いて、「ロザリオの祈り」が始まります。第1から第5の黙想ごとに、2つの朗読が読まれ、朗読の後に、アヴェ・マリアの祈りを3回と栄唱、パンフレットに載っている連祷、司式者の祈願、連祷の歌を歌い、ひとつの黙想を締めくくります。第5の黙想の後、最後に、主の祈りを唱え、閉祭祈願、祝福と派遣の歌によって祈りの集いを終わります。

福音宣教の道とともに歩む聖マリア

➤ 開式

- 入堂・歌 ： 「全世界に行って」

(参考：聖母のイコン・ランプ・ロウソク・ロザリオ・地球儀)

- 司式者の挨拶 ・ 祈願

宣教は、すべての人に向けられた招きです。

福音を告げ知らせることは、今も教会が人類のために第一になすべき奉仕です。

それは、様々な形でさげすまれ、抑圧されている現代の人びとにキリストの救いをもたらし、世界が経験している文化的・社会的・道徳的变化をキリスト教的な意味で方向づけるためです。

「マリアは、福音を宣べ伝える教会の母です。マリアを抜きにしては、新たな福音宣教の精神を十分に理解することはできません」と教皇フランシスコは宣言されています。マリアが福音の働き手の貴重な仕事を支え、導いてくださいますように。そしてキリスト者が言葉と生活を通してイエス・キリストを告げ知らせるために、常に新しい熱意と喜びと宣教精神が育ち、委ねられた福音宣教の使命にますます駆り立てられますように。そして、人類全体が「キリストにおいて神の子のひとつの家族」となれますように。

- 祈りましょう：

恵みゆたかな神よ、あなたは、教会がすべての人の救いの秘跡となり、キリストのわざを世の終りまで伝えることを望まれました。福音宣教のための集いにあって祈ります。世界のキリスト者が言葉と行いをもって、周囲の人々にいのちと愛の源であるあなたを告げ知らせ、人類の平和と繁栄に貢献できますように。

わたしたちもあなたの望みに応えることができるよう、光と力を注いでください。福音に出会う恵みを与えられたわたしたちが、重荷と労苦を背負うすべての人々とともに、キリストから与えられた喜びと希望を分かち合い、あなたに向かって歩んでいくことができますように。主イエス・キリストによって。

アーメン。

➤ 第1黙想：お告げの聖マリア

マリアは天使のお告げを受け、信仰によって神のことばを受け入れ、聖霊で満たされて、人類の救い主の母となりました。

ヨーロッパの大陸のために祈りましょう (白いランプを灯す)

- 朗読 (1)

わたしたちの福音宣教の任務や、教会のあらゆる宣教活動を、宣教の女王、聖なるマリアに委ねましょう。神の愛の発見、告知、証しの歩みに聖母マリアが同伴してくださいるように。マリアは、神の秘められたご計画に従い、彼女は「はい」という応答によって、人類の救いを可能としてくださいました。そして、彼女に助けを求める人、特に生存が危ぶまれるほど困難なときに助けを求める人々を、天から守り続けてくださいます。各共同体の私たちは、ロザリオの祈りを通して、マリアの模範に倣うことによって、私たちに与えられたキリスト者としての召命と宣教の意味を深める恵まれた機会となるでしょう。

- 朗読 (2)

現在、ヨーロッパでは、キリスト教は危機の時代を迎えています。数多くのヨーロッパ人は聖書を読み、それによって養われています。しかし、それでも多くの人びとは、キリスト教の土台を見失っています。人の霊的な渇きを示す様々なしるしが見られますが、多くの国では、たくさんの教会は空っぽになっています。個人的には、多くのキリスト者が教会にある程度関わっていますが、福音宣教に対して十分に力を入れているとは言えません。深い混乱と複雑な状況に置かれている現在のヨーロッパで、キリスト者がイエス・キリストから受けた賜ものの豊かさを再発見し、自ら受け取ったものを他の人に分かち合うことができますように祈りましょう。

- アヴェ・マリア (3回) ● 栄唱

- 連祷

福音宣教の母である聖マリア ● 私たちのためにお祈りください
福音宣教の星である聖マリア ● 私たちのためにお祈りください
福音宣教の道を示す聖マリア ● 私たちのためにお祈りください

- 祈りましょう：

愛といつくしみの母、聖マリアよ、ヨーロッパ大陸のすべての民があなたの胎内にいた神の子を再発見できるように助けてください。いつくしみによって成長し、福音の光が、ふたたび彼らの働きと生活を照らすことができますように。
アーメン

- 連祷の歌：「遠く地の果てまで」



答唱 と お く 地 の は て ま で す べ て の も の が か み の す く い を 見 た

➤ 第2黙想：エリザベト訪問の聖マリア

マリアは、いとこのエリザベトがこどもを授かったことを聞くと、心を決め、急いで訪ね、ともに祝い、身の回りの手伝いをするため三か月ほど留まった。

アジア大陸のために祈りましょう （黄色のランプを灯す）

● 朗読（1）

わたしたちは、おとめマリアがエリサベトにしたように、キリストの愛を兄弟姉妹、隣人に、家庭的な温かさと寛大な奉仕によって示すよう、「急いで」出かけるよう駆り立てられます。

● 朗読（2）

世界の人口 70 億人の内、およそ 60%にあたる 42 億人の人々がアジアに住み、広大な主のぶどう畑が目の前に広がっています。アジア全体では、キリスト者は 10%で、そのうちカトリックは 5%です。しかし、アジアにおけるカトリック教会は、小さな共同体でありながら、熱心に活動しています。教育、医療、衛生環境、社会正義の分野で使徒職に励んでいます。アジアでは、教会が人間の尊厳と人権を守っていると評価されています。アジアの国々は、それぞれ民族、文化、宗教、地理的条件などがさまざまですから、そのなかで、キリストの教会が認識され、受け入れられるようになることは多くの努力と長い時間がかかることでしょう。

数え切れないほどの宣教師と殉教者の、祈りと血と汗の結晶であるアジアの教会を、改めて主に捧げ、まだまだ数少ないアジアで働く宣教師の召命のために祈りましょう。

● アヴェ・マリア（3回） ・ 栄唱

● 連祷

福音宣教の母である聖マリア ・ 私たちのためにお祈りください

福音宣教の星である聖マリア ・ 私たちのためにお祈りください

福音宣教の道を示す聖マリア ・ 私たちのためにお祈りください

● 祈りましょう：

すべての民の希望である、聖マリアよ、あなたの子、イエスへの信仰のために迫害を受けているアジア大陸の兄弟姉妹を助けてください。武器での戦いをやめて、あなたの子どもとして互いに愛し合うことができますように。

アーメン

- 連祷の歌：「遠く地の果てまで」



答唱 と おく地のはてま で すべてのも のが か み のすくいを見 た

➤ 第3黙想：カナの婚礼の聖マリア

カナの婚礼での奇跡のときに、聖マリアはイエスの宣教活動の最初の協力者でした。聖マリアは人びとに言う「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください。」
オセアニア大陸のために祈りましょう （青いランプを灯す）

● 朗読（1）

カナの婚礼の時の、マリアの姿勢を見てみましょう。カナの婚礼の最中にぶどう酒がなくなったとき、マリアは、宴（うたげ）の賑わいに気を取られるのではなく、婚礼全体の流れを注意深く見ていました。だからこそマリアは、世話人より先に、ぶどう酒がなくなったことに気がついたのです。そして、その問題の解決を求めて、イエスの所に行き、助けを求めました。母マリアは、イエスの救いの業に参加し、協力するのである。このように私たちは、マリアの姿勢に倣って、自分自身のことばかりではなく、他の人の必要に目を向けて、主の助けを祈りましょう。

● 朗読（2）

歴史の流れの中で、教会の宣教師たちと司牧者たちの並々ならぬ努力のおかげで、オセアニアの人々はイエスに出会いました。多くの人々は、福音宣教の招きに応え、キリストに従い、そのみことばによって生きるようになりました。今日オセアニアの教会は、ますます躍動しています。イエスは新たに深い配慮を注ぎ、さらに信仰と主による豊かないのちに招いておられます。蒔かれた福音の種を芽生えさせ続けるように祈りましょう。

● アヴェ・マリア（3回） ・ 栄唱

● 連祷

福音宣教の母である聖マリア ・ 私たちのためにお祈りください
福音宣教の星である聖マリア ・ 私たちのためにお祈りください
福音宣教の道を示す聖マリア ・ 私たちのためにお祈りください

● 祈りましょう：

救い主の母、聖マリアよ、オセアニア大陸の諸民族が神の言葉を知ることができま

すように助けてください。神の言葉によって癒やされて、社会にある隔ての壁を乗り越え、豊かないのちがすべての人々に広がりますように。

アーメン

- 連祷の歌：「遠く地の果てまで」



答唱 と おく 地 の は て ま で す べ て の も の が か み の す く い を 見 た

➤ 第4黙想：イエスの十字架のもとに聖マリア

聖マリアは十字架のもとに立って、イエスの苦しみと共に、贖い主の協力者と人類すべての母となられた。

アフリカ大陸のために祈りましょう （緑のランプを灯す）

- 朗読（1）

マリアほど、イエスが人となられた神の深い神秘を知っている方はおられません。十字架の傍らで、マリアは愛弟子ヨハネとともに、イエスが口にした最後の言葉を聞き、その痛ましい姿を目の当たりにしました。母親として、十字架につけられた息子の苦しみと共にながら、神の愛の神秘を深く悟り、神のいつくしみがいかに果てのないものであるかを私たちに教えます。このような体験をされた聖マリアは、全ての人の母となり、その困難と苦悩を知り、いつくしみのまなざしを注ぐ方になりました。今日、私たちはこの聖マリアの取次ぎを願い、全ての人々を委ねます。

- 朗読（2）

教皇は、福音宣教の意向のひとつとして、「アフリカに暮らすキリスト者が、政治的・宗教的紛争のただ中であっても、イエス・キリストへの愛と信仰を証しすることができるよう祈りましょう」と勧めています。今、アフリカの教会が伸びています。アフリカで信者の数が一番多いのはキリスト教ですが、貧しさや争いの苦しみの中に置かれています。

アフリカの地で、忠実に福音を告げ知らせる教会が、正義と平和を推進できますように、心を合わせて祈りましょう。

- アヴェ・マリア（3回） ● 栄唱

- 連祷

福音宣教の母である聖マリア ● 私たちのために祈りください

福音宣教の星である聖マリア ・ 私たちのために祈りください
福音宣教の道を示す聖マリア ・ 私たちのために祈りください

- 祈りましょう：

いつくしみの門、聖マリアよ、 アフリカ大陸の諸民族のために祈ります。 戦争、暴力、病気と空腹のために苦しんでいる人々を思い起こしてください。自らの国を離れず、国の指導者の心を変え、正義を行うことができるようにしてください。
アーメン

- 連祷の歌： 「遠く地の果てまで」



答唱 と おく地のはてま で すべてのも のが か み のすくいを見 た

➤ 第5黙想：聖霊降臨の聖マリア

聖マリアは聖霊降臨の日に弟子たちの傍らにおられたように、教会の母として、福音宣教の先頭に立って、わたしたちに呼びかけています。

アメリカ大陸のために祈りましょう （赤いランプを灯す）

- 朗読（1）

マリアは、二階の広間で、使徒たちとともにいて、祈りのうちに、聖霊が降るのを待っていました。生まれたばかりの教会の発展に、母の愛をもって寄り添ってくださったように、現代におけるわたしたちの歩みをも導き、その取り次ぎによって、わたしたちに新しい愛の聖霊降臨をもたらしてくださいますように。そして、とりわけわたしたち一人ひとりに、宣教者としての自覚、つまり、自分は人生のあらゆる瞬間に、神のあかし人となるよう、主から遣わされたのだという自覚をもたせてくださいますように。地の果てにまで福音を告げ知らせることができるようにと。

- 朗読（2）

イエスのみ名は、人類のおびただしい数の人々に、そしてアメリカの社会のさまざまな所で、いまだに知られていません。まだ洗礼を受けていない先住民族の人々、あるいはイスラム教、仏教、ヒンズー教などを信じる、特にアジアからの移民の人々が多いのです。

このことは、アメリカの教会に、すべての民への福音宣教に取り組む務めがあるということです。アメリカにおけるさまざまな司牧の取り組みは、新福音化の計画へと方向づけられますが、教会に来ている信徒たちの信仰を活気づけることだけではありません。まだ知られていない所で、キリストを告げ知らせることに励まねば

なりません。同様に、アメリカのそれぞれの教会は、アメリカ大陸にとどまらず、宣教に取り組むよう、呼びかけられています。

教皇も、アメリカの信徒が、皆キリストの弟子であり宣教者であるという意識を、新たにして祈り求めるように、招いておられます。これからも、多くの宣教師がアメリカの国々から、派遣されますように、教皇の意向に心を重ねて祈りましょう。

● アヴェ・マリア (3回) ● 栄唱

● 連禱

福音宣教の母である聖マリア ・ 私たちのためにお祈りください

福音宣教の星である聖マリア ・ 私たちのためにお祈りください

福音宣教の道を示す聖マリア ・ 私たちのためにお祈りください

● 祈りましょう：

世に救い主イエスを与える宣教師、聖マリアよ、正義と平和を切望するアメリカ大陸の人々をあわれみ、特に貧しい人、疎外されている人、差別を受けている人、少数民族の人に寄り添い、助けてください。

すべての人の母であるあなたの愛を感じて、あなたの子イエスの救いに与る喜びを深く味わうことができますように。

アーメン

● 連禱の歌：「遠く地の果てまで」



答唱 と お く 地 の は て ま で す べ て の も の が か み の す く い を 見 た

➤ 閉式

● 主の祈り

● 閉祭祈願

いつくしみ深い父よ、私たちの上に聖霊を新たに注ぎ、キリストの福音宣教のために心を燃えさせたせ、世界を希望で満たしてください。世界宣教の尊い使命を全うできるようにすべての宣教師に健康と喜びを与え、あなたのみ国のための彼らの働きを支えてください。主イエス・キリストによって。

アーメン

- 祝福

いつくしみ深い神である父が、皆さんを愛の証し人とされますように。
アーメン

御父の心を表してくださった御子キリストが、福音の喜びを与えますように。
アーメン

命の息吹である聖霊が、皆さんの福音宣教活動を導いてくださいますように。
アーメン

全能の神、父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にありますように。
アーメン

祈りの集いを終わります。福音宣教に行きましょう、主の平和のうちに。
神に感謝

- 派遣の歌 ： 「行け、地の果てまで」



『ともに喜びをもって福音を伝えるための祈り』

喜びの源である神よ、
あなたは、御子キリストを遣わし、
その受難と復活を通して、救いに導く喜びの福音を
この世にもたらしてくださいました。
また、あなたは、キリストの後に従う働き手を通して、
諸国の民に福音を告げ知らせ、どんな逆境にあっても、
キリストを信じる人々の喜びを支えてくださいました。
さまざまな困難に直面している現代社会の中で、
人々の救いに奉仕する教会を顧みてください。
キリストの救いの喜びを
新たな熱意、手段、表現をもって伝えることができるよう、
わたしたちを聖霊によって強めてください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

集いの進行、祭壇などの準備と飾りについての提案

- * 大きいロザリオ、または宣教のロザリオ（五大洲ロザリオ）、五つの色のランプ（ロウソク）や大きい地球儀などの飾りで五大洲を表すことができます。（写真）
- * 入堂の行列の時に、侍者によって運ぶこともできます。
- * 五色のランプ（ロウソク）の火は、式の最初からすべてに点灯しておかずに、黙想ごとに一つひとつ、大陸のために祈るときにともす。
- * 布とランプの色について
五色（左から 黄・緑・白・赤・青）を重ねて連結した形で、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアの五大洲を表し、その相互の連帯と一致を意味しており、目で見える形で表現しています。
- * 『ともに喜びをもって福音を伝えるための祈り』を通して、特別月間だけでなく、私たち一人ひとりの福音宣教への目覚めと奉仕のために絶えず祈りましょう。





「福音宣教のための特別月間」

(2019年10月)